

岩井将門まつり



(表紙写真提供：坂東市観光協会)

坂東市岩井(旧岩井市)は、平将門公が平安時代中期に本拠地を置いた場所として知られ、関東一円を手中に収めていた当時、将門公は自らを「新皇」と称していました。

しかし、天慶3年(940年)2月14日、岩井北山の戦い(天慶の乱)で藤原秀郷、平貞盛らの連合軍に敗れ、現在は市内にある國王神社に祀られています。

市では、旧岩井市の市政施行を記念して、郷土の英雄である将門公の勇姿を現代によみがえらせようと、約1,000年の時を越えた昭和47年(1972年)から「岩井将門まつり」を開催しています。

将門まつりは、総勢100名の武者が「神田明神将門太鼓」の勇壮な音色が響き渡る中、うっそうとした國王神社の杉並木を参詣する戦勝祈願から始まります。

その後、地元の中高生が弓道模範演武を披露する出陣式が行われ、武士たちは、茨城県指定無形民俗文化財に指定されている「神田ばやし(別名を「将門ばやし」)のお囃子とともに行列をなして歩み出します。

武者行列は、愛らしい稚児行列と少年剣士を先頭に、鎧兜の勇壮な武者や雅やかな姫が参列するほか、平成23年度からは、国指定重要無形民俗文化財である相馬野馬追騎馬隊そうまのまおいも特別参加し、迫力のある様相で見物客を魅了します。

まつりの最後には、神田ばやしの山車の競演に、岩井将門太鼓と神田明神将門太鼓の荘厳な響きが加わり、会場の盛り上がりは最高潮に達します。

この秋、ご家族・ご友人とともに、深い歴史を感じる将門まつりをご覧になってみてはいかがでしょうか。



◆住所：坂東市岩井商店街、國王神社(茨城県坂東市岩井951)

アクセス：

【車】常磐道谷和原ICから車で25分
圏央道坂東ICから車で10分

【電車】つくばエクスプレス守谷駅からバスで40分、岩井バスターミナル行き臨時バス停「市役所入口」から徒歩約5分
東武アーバンパークライン愛宕駅からバスで30分岩井車庫行き臨時バス停「市役所入口」から徒歩約5分

開催期間：11月12日(日)

同時開催：坂東市いわい将門ハーフマラソン

筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ